

方向 123 すべての市民が、その生涯を通して心身ともに健やかにくらすよう、市民ひとりひとりの心身の健康づくりへの意識を高めるとともに、総合的な保健予防対策や衛生的な生活環境づくりによって健康に生活できる環境を整備し、適切な保健・医療サービスが受けられるまちの実現をめざす。
また、生涯を通して、だれでも、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる豊かな暮らしの実現に向け、市民やスポーツ振興団体等との連携の下、スポーツに親しむ機会と場の提供に努める。

評価 B 客観指標のうち、保健医療サービスの状況等を示す指標は概ね良い状況である。市民は健康増進や医療機関の利便性に関して良い生活実感を持っており、やや良い状況である。客観指標評価、市民生活実感評価とも比較的良い状況にあることからこの政策の目的はかなり達成されていると評価する。

この政策を実現するための施策とその総合評価

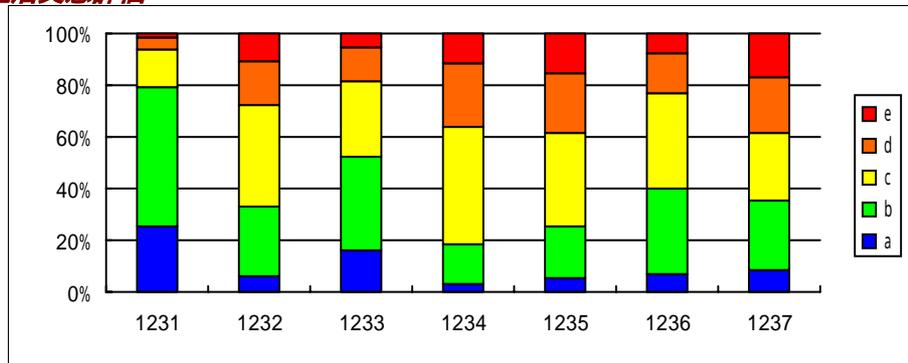
1231	市民ひとりひとりの健康の増進	市民ひとりひとりの心身の健康づくりへの意識を高めるとともに、各世代に応じた健康教育や保健サービスなど、保健所を中心とした健康づくりを進める。	評価: B
1232	市民の健康をしっかりと守る取組の推進	毒物や食中毒など、市民の生命や健康を脅かす事態に対する危機管理体制の整備を進める。また、難病患者等に対する支援や結核をはじめとした感染症対策、歯科保健対策を推進する。	評価: C
1233	保健医療サービスを支える体制の整備	保健所や市立病院をはじめとする保健医療施設などハード機能強化を図るとともに、市民の健康を取り巻く状況の変化に的確に対応できる看護師の育成などソフト基盤の整備を行う。	評価: C
1234	精神保健・医療・福祉サービスを支える体制の整備	市民のこころの健康の保持増進を図るとともに、精神障害の予防や治療、精神保健福祉体制を整備する。	評価: B
1235	生活衛生の推進	食品衛生、居住衛生、動物愛護等市民に身近な生活衛生対策を推進する。	評価: C
1236	保健医療施策の計画的な推進	保健、医療、福祉の環境を取り巻く状況が大きく変化する中で、総合的、計画的に保健医療を推進し、市民の健康づくりを進める。	評価: C
1237	スポーツ活動の機会や施設に恵まれたまちづくり	生涯を通してスポーツに親しむことができる豊かな暮らしの実現に向け、市民やスポーツ振興団体等との連携の下、スポーツに親しむ機会と場の提供に努める。	評価: B

主な客観指標の現在値と評価(アウトカム指標での評価)

1231	生活習慣病による死亡率(脳血管疾患)(人口10万対)	91.6e
1231	生活習慣病による死亡率(心疾患)(人口10万対)	115.3a
1231	生活習慣病による死亡率(がん)(人口10万対)	243.5a
1232	(準)難病対策支援サービス利用者数(人)	577a
1232	京都府下での登録会場での骨髄バンク登録者数(人)	4739a
1233	看護師等養成所の卒業生の市内就職率(%)	54e
1233	救急患者受入人数(人)	57918b
1234	精神科救急医療システム相談件数(件)	1602a

1234	精神障害者居宅介護等事業の延べ利用時間数(時間)	9361.5 a
1235	市内の食中毒発生件数(件)	16 c
1237	スポーツ施設の利用件数(件)	9742 a

市民生活実感評価



- 1231 健康づくりに取り組む人が増えている。 a
- 1232 医薬品の副作用や食中毒、感染症など健康に関する情報が手に入れやすい。 c
- 1233 利用しやすく頼れる医療や検査などの機関がある。 b
- 1234 精神に障害のある人への保健、医療、福祉サービスが充実している。 c
- 1235 保健所などによる業者への監視や指導があるので、食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。 c
- 1236 日常生活の中で色々な機会を通じて健康に関する正しい情報が手に入る。 c
- 1237 地域において、気軽にスポーツを楽しむ機会がある。 c